



桜川市議会 議長  
うしおだ しんせい  
潮田 新正

# 輝く未来を あなた 市民と共に

新年明けましておめでとうございませう。市民の皆様には、平成28年の希望に満ちた新年を健やかに迎えることと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃から、議会活動に対し温かいご支援、ご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、台風18号による関東・東北豪雨災害が発生し、多くの方が被害にあわれました。ここに被災されました皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

また本市においては、8月29日に茨城県・桜川市共催による「茨城県・桜川市総合防災訓練」が多くの方の参加を得て実施され、防災に関する理解と意識の高揚が図れたことと思います。

さらに、合併10周年を迎え、今後のさらなる発展を祈念すべき式典を9月27日に盛大に挙行し、新たな船出を誓いました。

さて、最近の地方を取り巻く状況ですが、皆様ご承知のとおり、わが国では、長引く景気の低迷や少子高齢社会の到来など、様々な課題に直面し、大変

厳しい社会経済状況にあります。本市も、国の「まち・ひと・しごと創生法」の制定に伴い、人口減少・超高齢化という課題に対し、今後5か年の目標や基本的方向、具体的な施策を進めています。

一方、新中核病院については、筑西市が、桜川市立病院については、桜川市が整備し、双方連携を図りながら平成30年10月開院に向けて事業推進しているところでもあります。

また、大和駅北地区開発は、医療・産業・住居系の都市的機能を有した本市の玄関口にふさわしい整備を進めているところです。

議会としましては、これらの課題に対し真摯に向き合い、執行部と常に緊張ある関係を保ちながら、二元代表制の一翼を担う意思決定機関として、市民の福祉の向上と市の発展のため、議会活動を行っていく所存でございますので、今後とも市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が、皆様にとって幸せで、実り多き年になりますことを心からご祈念申し上げます。新年にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。



桜川市長  
おつか ひでき  
大塚 秀喜

# 「元気な桜川市」を 目指して

新年明けましておめでとうございませう。平成28年の輝かしい新春を迎え、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、近年全国各地で大規模な自然災害が発生しており、昨年の「関東・東北豪雨」では、鬼怒川が決壊したことにより、県内の常総市を中心に、広範囲で甚大な被害を受けました。

この災害でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますと共に、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

本市は、ご承知のとおり、多くの土砂災害警戒区域を有することから、想定外の大雨などによる災害警戒情報や避難場所などの伝達が、迅速・的確に行えるよう、今後も市民の皆様とともに、災害に対する意識改革に取り組んで参ります。昨年は、その一環といたしまして、茨城県と共催で、土砂災害を想定した防災訓練を実施いたしました。

また、昨年は桜川市が合併して10年という節目の年を迎えることができました。

これも偏に、市民の皆様のご温まるご支援・ご協力の賜物と感謝申し上げます。

私が市長就任以来、取り組んで参りました「命と健康を守る」「産業を元気に」「観光の活性化」「農業の振興」「教育の充実」「行財政の充実」を基本姿勢とした各種施策につきましても、引き続き全力を傾注して参ります。

特に、大和駅北地区の開発に向けては、市立の病院整備を中心に、人口減少に歯止めをかけるべく、「しごと」をつくり、「ひと」を呼び込み・活力ある「まち」を目指して参りたいと考えております。

また、本年は従来の保育所と幼稚園を統合した、認定子ども園の開設や小中一貫校の開校を進めながら、スクールバスの運行と併せ、市内路線バスの運行の実現に努めて参ります。

一方で、鳥獣による農作物などの被害が、近年増加しております。本年は、その被害に対応するため、猪対策室を農林課内に設置し、さらなる被害防止に努めて参ります。

結びに、「元気な桜川市」を目指して、全力で取り組んで参りますので、今後ともより一層のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますようご祈念いたします。年頭のご挨拶といたします。